

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせきしがらきのみやあと(だいのきゅうりょうちく)							
書名	史跡紫香楽宮跡(内裏野丘陵地区)							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	大道和人、松室孝樹、小松葉子							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課							
所在地	大津市京町四丁目1番1号							
発行年月日	平成21年(2009年)3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
しせきしがらきの みやあと 史跡紫香楽宮跡	こうかし 甲賀市	367	045	34°	136°	040401	550㎡	史跡内容 確認調査
	しがらきちょう 信楽町 きのせ・まき 黄瀬・牧			55′	05′	↓		
090331				00″	00″			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
史跡紫香楽宮跡	寺院	奈良時代	金堂・講堂・回廊		瓦・鉄釘・土器・焼壁		奈良時代中頃以降の寺院跡	
要約	奈良時代中頃に聖武天皇により大仏造立が試みられた甲賀寺に関連するとみられる寺院跡で、伽藍跡の確認調査を実施したところ、金堂・講堂等の基壇を確認するとともに、礎石列と掘立柱列で構成される回廊(単廊)を検出した。							